

# 山梨県耐震改修促進計画（改定）（概要版）

## 【1】計画改定の背景と目的

本県では、平成19年に策定した山梨県耐震改修促進計画により、住宅・建築物の耐震化率の目標を定めて、耐震化の促進に努めてきました。

しかし、本県に影響のある南海トラフ地震や首都直下地震については、発生の切迫性が指摘され、その被害は甚大と想定されている中、更なる耐震化の促進が必要であることから、本計画を5年間延長し、さらなる耐震化の促進を図ります。

## 【2】耐震化の現状と目標設定

住宅の耐震化率について、本県の現状を検証したところ、令和2年度末の耐震化率は、87.3%と推計されます。（令和2年度末の目標値 90%）

国が耐震化率の見直しを行うことから、本県における令和7年度末の住宅の耐震化率の目標を次のとおりとします。

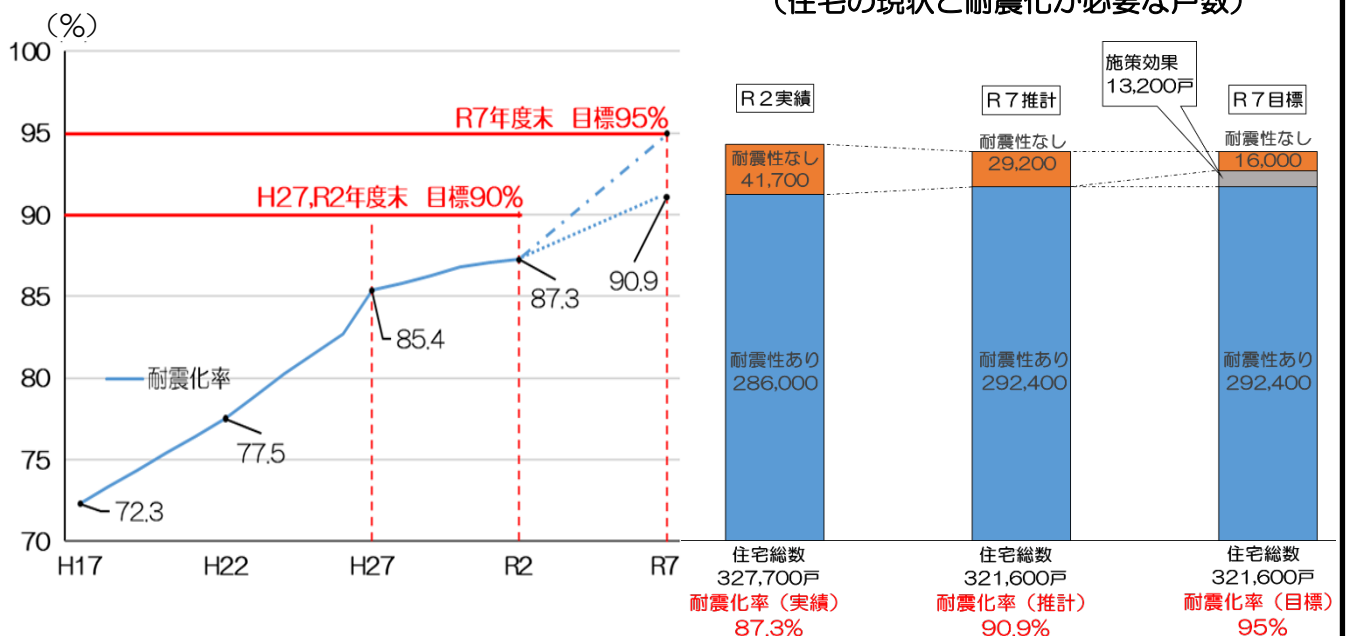
住 宅

平成27年度末（推計）  
耐震化率85.4%

令和2年度末（推計）  
耐震化率87.3%

**目 標**  
令和7年度末  
耐震化率 **95%**

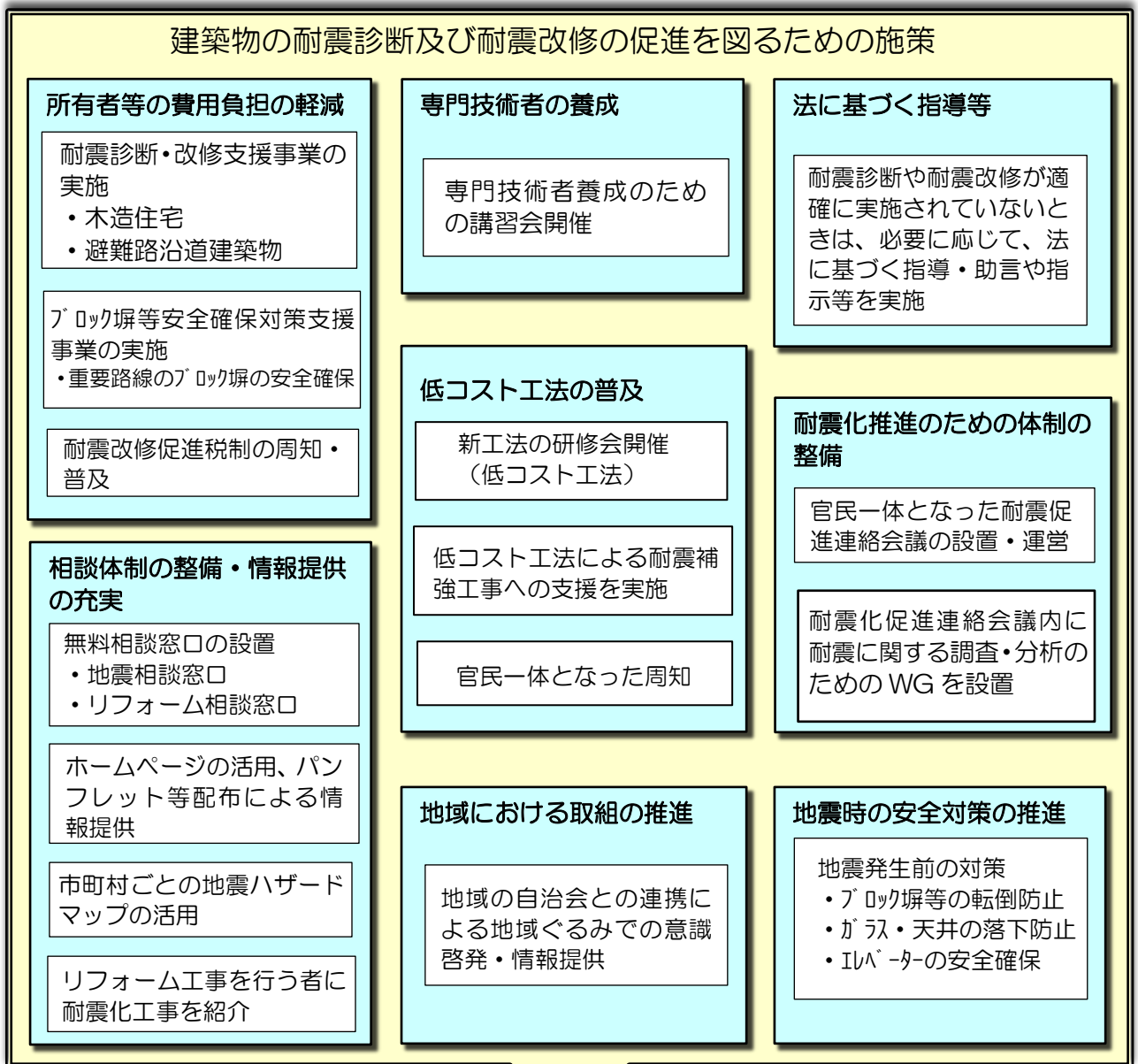
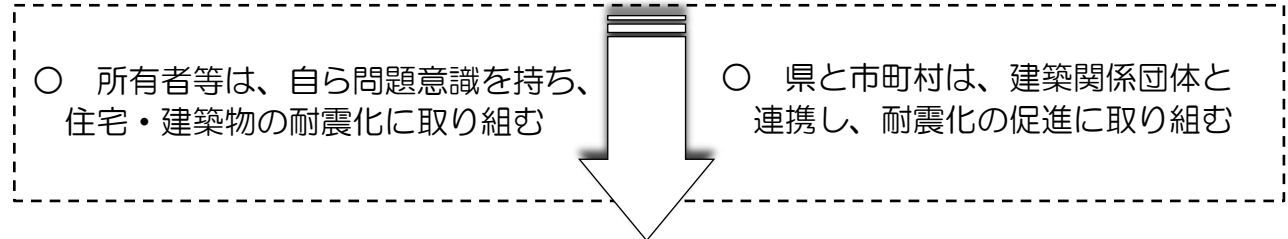
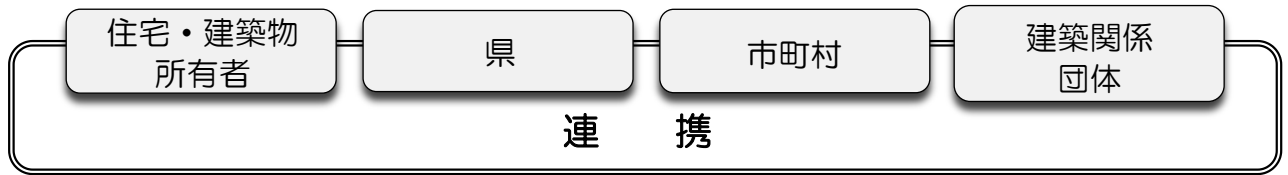
## 【3】住宅の耐震化率の推移



住宅の耐震化率は、令和2年度末で87.3%となり、自然更新を考慮すると令和7年度末の耐震化率は、90.9%と推計されます。

耐震化率の目標である95%を達成するには、今後5年間で自然更新に加え、施策の実施により13,200戸の耐震化が必要になります。

## 【4】建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための施策等



地震に強いまちづくり